コンクリート改質剤(下地強化剤)

エレホン・アルカードエポは、比較的低分子量のエポキシ樹脂と低粘度変性脂環式ポリアミン硬化剤とを組み合わせた浸透性エポキシ系下地強化剤です。

劣化した下地の内部及び表面の強度を高め補修モルタルと下地との接着界面からの剥離を防止します。

特長

- ▶ エポキシ分子量の調整及び浸透性を高める溶剤で希釈しているため、下地への浸透性が優れています。
- ▶ 硬化体は気孔及び毛細管を充填すると共に結合剤として働きますので、劣化部の強度が向上します。
- ▶ 硬化後は、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたって強度を保持します。

用途

●劣化したコンクリート表面や内部の強度向上

性 状

	アルカードエポ(主剤) アルカードエポ(硬化剤)		試験方法	
混合重量比	2	1	-	
容器の中の状態	透明液状でかき混ぜたとき 堅い塊がなく一様になる。	コハク色液状でかき混ぜたとき 堅い塊がなく一様になる。	JIS K 5600-1-1	
比重	0.90~1.10	0.85~1.05	JIS K 7232	
粘 度 (mPa·s)	0~24	5~45	JIS K 7233	
加 熱 残 分 (%)	57~63	42~52	_	
可 使 時 間	4時間(1		
指触乾燥時間	2時間(JIS K 5400		
接着強さ	2.6N/m㎡(コン	建研式		

● 荷姿(9kgセット)

·主 剤 6kg

·硬化剤 3kg缶



施工要領

① 下地処理 「浮き部、劣化部等を除去し清掃後、アルカードエポを塗布します。主剤2:硬化剤1の割合でよく撹拌した後、

②塗 布

標準塗布量(g/m²) 3

300

ハケ又はローラーにより塗布します。塗りむらのないように、均一に良く浸透させて下さい。下地が湿った - 状態では浸透しにくくなりますので、乾燥状態で塗布して下さい。下地の状態で塗布量は異なりますが、 | 劣化はつり部は、可能な限り多く塗布して下さい。

③ 養生 屋外の場合は夏期で12時間以上、冬期で24時間以上、屋内の場合は24時間以上養生し、アルカードエポが 硬化していることを確認後、次工程に進んで下さい。



性能

●引張試験結果

〈試験方法〉

S/C=4の低強度モルタル基板を作製し、20℃で24時間養生した後、たわしを用いて表面を洗浄し、24時間60℃で 基板を乾燥させた。冷却後、アルカードエポを300g/m²塗布し、3日後、建研式接着試験器で接着力を求めた。

	1	2	3	平均
アルカードエポ塗布	2.0	2.5	2.1	2.2
無塗布	0.8	0.8	0.7	0.8

(N/mm²)

●耐磨耗試験結果

〈試験方法〉

S/C=40低強度モルタル基板を作製し、20Cで7日間養生した後、24時間60Cで基板を乾燥させた。 冷却後、アルカードエポを $300g/m^2$ 塗布し、3日後、耐磨耗試験を行った。

200回転磨耗量(g)	1	2	平均	
アルカードエポ塗布	0.23	0.20	0.22	
無塗布	5.70	5.31	5.51	

500回転磨耗量(g)	1	2	平均		
アルカードエポ塗布	0.42	0.50	0.46		
無塗布	中止(底面付近まで磨耗したため)				

※耐磨耗試験条件 磨耗輪 : H-22 輪荷重 : 500g

注)上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

●使用上の注意

- ·ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDS の入手は購入先にご依頼下さい。
- ・取り扱い時には適切な保護具(ゴム手袋、保護マスク(有機ガス用、送気)、保護衣、ゴーグル等)を着用して下さい。
- ・使用時や保管場所の周囲は火気厳禁です。
- ・主剤、硬化剤を混合したものは保存できません。
- ・使用後は密栓し、直射日光を避け、涼しい所に保管して下さい。
- ・紫外線劣化しますので、アルカードエポ硬化後は保護材をかけて下さい。

● 本資料について

・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、 信頼しうる情報と考えられます。

しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。

・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレボン・化成工業株式会社

EREWHON

https://erewhon.co.jp

●本	計 · 丁	場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEI	(007) 552-2251	FAX (097) 552-2213
・い	わき エ	場	T979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3		(0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大	阪 支	店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL	(06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福	岡支	店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL	(092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関	東支	店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央 2-5-13-3F	TEL	(045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
● 仙	台 支	店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町 6-2	TEL	(022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名	古 屋 支	店	〒463-0048	愛知県名古屋市守山区小幡南3-5-21	TEL	(052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札	幌 営 業	所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL	(011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
新	潟 営 業	所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島 1 - 10 - 23	TEL	(025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
静	岡営業	所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL	(054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北	陸営業	所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL	(076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広	島営業	所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL	(082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
熊	本 営 業	所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL	(096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
● 鹿	児島営業	所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL	(099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● (株)コ	[レホン・技研2	▶社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL	(088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エ	レホン・技研松山営	業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町 1450-6	TEL	(089) 974-8225	FAX (089) 974-8230